



B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
										H23	H24	H25			H26	H27	
											合計					0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)							
										H23	H24	H25			H26	H27	
											合計					0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した下水道管路施設の状態を把握し、緊急度の高い管路施設から計画的に改築更新を行うことが可能となった。</li> <li>・老朽管路施設が多い市内中心部で改築更新を実施することで、下水道利用の停止や道路陥没等を未然に対策することが出来た。</li> </ul>											
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標① 管路施設の長寿命化計画策定率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	順調に達成することが出来た。		
		最終実績値	100.0%				
	指標② 長寿命化計画のうち管路施設の長寿命化対策実施率	最終目標値	50.0%	目標値と実績値 に差が出た要因		市単独事業においても、ほかの改築更新すべき路線の整備を進めたため。	
		最終実績値	45.0%				
	指標③ 長寿命化計画のうちマンホール蓋の長寿命化対策実施率	最終目標値	50.0%	目標値と実績値 に差が出た要因			市単独事業においても、マンホール蓋の長寿命化対策に取り組んだため。
		最終実績値	28.7%				

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

今後は、ライフサイクルの視点に立ち、新規整備から維持管理、延命化、改築までを一体的にとらえ下水道施設を適切に管理するストックマネジメントを実施する。

(参考図面) 防災・安全

